

## 地震の時に水はでるの？

### 管路の耐震化を進めています

水道施設が被害を受ければ、断水等の不自由な生活を強いられることとなります。

水道事業拡張期に布設した水道管は老朽化の時期を迎え、平成27年度末における東松山市の管路経年化率(水道管の法定耐用年数である40年を超えてしまっている割合)は、13.48%であり、平成26年度末における全国平均である12.42%と比べても少し高くなってしまっています。

しかし、管路更新率(既にある水道管を新しくした割合)については、2.13%と平成26年度末

全国平均0.78%を大きく上回っています。昨年度は市内14ヶ所で6.2kmの老朽管取り替え工事を実施し、今年度は市内12ヶ所で7.5kmの取り替え工事を予定しており、老朽管の更新を進めています。



新たに布設した水道管については、写真のような耐震性のあるものを使用しており、それらの耐震管は東日本大震災においても、ほぼ被害がなかった事が確認されています。

平成27年度末時点において東松山市全体の管路の耐震化率は、22.5%となっており、地震などの災害に備え、耐震化を進めています。

### 非常時の備え

私たちが生活するうえで欠かせない水。非常時に水が使えなくなってしまうわないよう、市内には水道タンク(配水池)のほか、「緊急貯水槽」と呼ばれるものが市内4箇所(東松山駅東口・西口、松一小、松風公園)に設置してあります。

「緊急貯水槽」とは、「常時は水道管路の一部として水の通り道になっているが、地震等の災害時には、飲料用として貯留水を利用できる水槽」のことです。そこに手動式ポンプ(手でレバーを押し下げて、水を吸い上げるもの)を設置し、水をくみ上げることができるようにしています。(表紙の写真参照)

しかしながら、非常時に供給できる水にも限りがあります。個人での水の確保も大切になりますので、日ごろから非常時の備えをしておきましょう。

## 限りある資源「水」を大切に使いましょう!

編集 ・ 発行

東松山市 建設部 水道課

〒355-0076 東松山市大字下唐子814番地  
ホームページ <http://www.hmywater.jp>

TEL 0493-22-1123  
FAX 0493-22-4389